

2022年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年6月29日

上場会社名 株式会社ピクルスコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 2925 URL https://www.pickles.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 雅弘
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理財務部長 (氏名) 三品 徹 TEL 04-2925-7700
 四半期報告書提出予定日 2021年7月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第1四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	12,067	0.4	1,326	45.3	1,361	45.2	928	42.4
2021年2月期第1四半期	12,021	13.4	913	22.5	937	19.6	651	23.6

(注) 包括利益 2022年2月期第1四半期 943百万円 (40.9%) 2021年2月期第1四半期 669百万円 (36.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	144.41	143.01
2021年2月期第1四半期	101.85	100.74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第1四半期	26,791	15,459	57.3
2021年2月期	25,949	14,728	56.4

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 15,362百万円 2021年2月期 14,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	-	0.00	-	35.00	35.00
2022年2月期	-	-	-	-	-
2022年2月期(予想)	-	0.00	-	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	24,592	0.8	1,850	3.4	1,900	2.5	1,220	△5.6	189.82
通期	46,500	1.0	2,850	5.1	2,940	3.9	1,900	3.7	295.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）—、除外 一社（社名）—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期1Q	6,427,300株	2021年2月期	6,427,300株
② 期末自己株式数	2022年2月期1Q	385株	2021年2月期	293株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期1Q	6,426,957株	2021年2月期1Q	6,397,743株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により3度目の緊急事態宣言が発令されるなど、依然として経済活動が抑制される厳しい状況となりました。政府の各種政策の効果や海外経済の改善があり、持ち直しの動きが続くことが期待されますが、感染拡大による経済の下振れリスクは大きく、先行きが不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、巣ごもり需要が継続したことにより、内食需要も堅調に推移しました。一方、外出については営業時間短縮や酒類提供の制限・禁止の要請により引き続き厳しい状況となっております。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を背景に免疫力向上などに注目が集まるなど、健康に関する意識は高まっております。このようなライフスタイルの変化に合わせたニーズへの対応とともに、食の安全・安心の確保や、フードロスなどの社会問題への対応も求められております。

このような状況のなか、当社グループは、北海道から九州にかけて全国に展開している製造・販売ネットワークを活用し、積極的な営業活動を行いました。

販売面では、㈱フードレーベルにおいて、「牛角シリーズ商品を買って・食べて・おいしく元気♪プレゼントキャンペーン」と題し、「牛角韓国直送キムチ」や「牛角やみつきになる！丸ごと塩オクラ」などの商品を対象として、宮崎牛や特別栽培米などが当たるキャンペーンを実施しました。また、他社との共同開発を行い、「ご飯がススム」ブランドを使用したカップ麺などのコラボレーション商品を発売するなど、さまざまな販売促進活動を実施しております。

製品開発面では、BMIが高めの方の体脂肪を減らす機能性表示食品として「Pne-12+キムチ」や、ご家庭で誰でも手軽にぬか漬を楽しめるぬか漬の素として「発酵の魔法 かんたん糠床」、本格的な中華調味料商品の「重慶飯店監修 雲白肉のたれ」などの新商品を発売しております。その他、既存商品のリニューアルなどを実施しました。

新規事業については、外食事業及び小売事業を行う「OH!!!～発酵、健康、食の魔法!!!～」(所在地：埼玉県飯能市)を2020年10月に開業しております。OH!!!は、営業時間短縮等の新型コロナウイルス感染症対策を講じ、営業を継続しております。

新型コロナウイルス感染症対策として、出勤前及び出勤時の検温、業務中のマスクの着用、手指消毒、定期的な換気、事務所の休憩室や会議室におけるアクリル板の設置、WEB会議の活用、時差出勤や在宅勤務などを継続して実施しております。

売上高は、外出自粛に伴う巣ごもり需要が継続していることにより、家庭内での食事の機会が増加している状況や家飲みによる消費が継続していることや、健康志向の高まりにより乳酸菌を含む食品としてキムチの需要が継続していることなどにより、製品売上高は増加いたしました。

利益については、天候が比較的順調に推移し、原料価格が安定したことにより増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は12,067百万円(前年同四半期比0.4%増)、営業利益は1,326百万円(同45.3%増)、経常利益は1,361百万円(同45.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は928百万円(同42.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて842百万円増加し、26,791百万円となりました。これは主に現金及び預金が806百万円、製品及び商品が128百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べて111百万円増加し、11,332百万円となりました。これは主に買掛金が376百万円、流動負債のその他が237百万円それぞれ増加したことと、未払法人税等が314百万円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて730百万円増加し、15,459百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益等により利益剰余金が703百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の業績予想につきましては、2021年4月13日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,437	5,243
受取手形及び売掛金	5,290	5,288
商品及び製品	244	372
仕掛品	72	72
原材料及び貯蔵品	229	270
その他	90	70
流動資産合計	10,365	11,318
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,515	5,423
機械装置及び運搬具(純額)	1,758	1,712
土地	6,411	6,411
リース資産(純額)	62	63
建設仮勘定	—	10
その他(純額)	164	170
有形固定資産合計	13,912	13,791
無形固定資産		
のれん	502	478
その他	158	162
無形固定資産合計	661	640
投資その他の資産		
投資有価証券	551	591
繰延税金資産	413	404
その他	135	135
投資損失引当金	△89	△89
投資その他の資産合計	1,011	1,041
固定資産合計	15,584	15,473
資産合計	25,949	26,791

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,462	3,839
短期借入金	1,400	1,350
1年内返済予定の長期借入金	1,143	1,175
リース債務	7	8
未払法人税等	772	457
賞与引当金	187	76
役員賞与引当金	108	—
その他	1,850	2,088
流動負債合計	8,932	8,995
固定負債		
長期借入金	1,355	1,396
リース債務	25	26
繰延税金負債	3	2
退職給付に係る負債	501	517
負ののれん	96	87
その他	305	305
固定負債合計	2,288	2,336
負債合計	11,221	11,332
純資産の部		
株主資本		
資本金	763	763
資本剰余金	2,134	2,134
利益剰余金	11,643	12,347
自己株式	△0	△0
株主資本合計	14,542	15,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81	96
その他の包括利益累計額合計	81	96
新株予約権	104	117
非支配株主持分	0	0
純資産合計	14,728	15,459
負債純資産合計	25,949	26,791

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
売上高	12,021	12,067
売上原価	8,843	8,380
売上総利益	3,177	3,687
販売費及び一般管理費	2,264	2,360
営業利益	913	1,326
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	1
持分法による投資利益	6	16
負ののれん償却額	9	9
受取賃貸料	10	8
その他	5	5
営業外収益合計	33	41
営業外費用		
支払利息	2	1
賃貸費用	5	4
営業外費用合計	8	6
経常利益	937	1,361
特別利益		
固定資産売却益	-	0
補助金収入	0	5
特別利益合計	0	5
特別損失		
固定資産処分損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	937	1,367
法人税等	285	439
四半期純利益	651	928
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	651	928

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	651	928
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	15
その他の包括利益合計	17	15
四半期包括利益	669	943
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	669	943
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。